

1. 人権尊重

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる。	◎	子どもの思いを大切にし、子どもが理解しやすい言葉で伝えている。子どもの目線に合わせ、話に耳を傾け、子どもの思いや考えをつかむようにしている。また、自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちを汲み取るよう努力している。

2. 保育方針

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
保育方針、保育目標を理解し正しく説明することができる。	○	入社時、園内研修などで保育方針を伝えている。
保育方針、目標が保護者に知らされている。	○	入園時に、重要事項説明書にて説明。園に掲示する。

3. 保育計画

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
保育計画を作成し、見直しをもった保育を実施している。	○	保育所保育指針に基づき、全体的な計画、年間保育計画月案、週案、日誌を作成している。また、定期的に自己評価を行い、その結果を生かして翌月の指導計画を立案している。
年間計画、年間行事の見直しをしている。	○	保護者の意見も取り入れ、恒例行事についても検討を重ねたうえ実施している。

4. 個人情報保護

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
個人情報の取り扱いについて、入園時に説明されている。	◎	守秘義務の周知徹底に努めるとともに、園内研修などで守秘義務について周知している。
業務上知り得た子ども、保護者の情報に関する守秘義務について全職員で周知している。	◎	

5. 保育内容

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	◎	基本的な生活習慣や生理現象については、個々の気持ちに寄り添い、丁寧に関わるようにしている。
子どもがのびのびと意見や意思が表現できるような保育が行われている。	○	十分に体験した経験が、自発的な行動の根源にあることをふまえ、子どもが求めてきたときには、その思いを汲み取り、受容するよう努めている。
遊びや生活を通して、友達や保育士との関りを十分持ち、人間関係が育つような配慮をされている。	○	遊びや生活を通して、気持ちのぶつかり合いを経験したときに、相手の気持ちにも気づき、自身で気持ちに折り合いをつけられるように配慮している。